



◇編集・発行／無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会

◇連絡先 無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会

〒105-0004 東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル4階 ◇TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226 ◇Email : hoshinoosaka@gmail.ne.jp

◇頒価 200 円 ◇毎月 1 回 第 1 月曜日発行 ◇会費 年間 3000 円

◇口座振替 00140-7-635858 (星野・大坂全国救援会)



総会は全国 30 救援会、73 人が出席し歴史的出発点を築いた (8 月 24 日 ティアラこうとう)

## 戦時弾圧に勝利する救援会を 大坂奪還へ歴史的総会

8 月 24 日、救援会は東京江東区のティアラこうとうで星野・大坂全国総会を開催し、全国 30 の救援会から 73 人が集いました。8 月 6 日に広島で機動隊の暴力を打ち破り反戦反核集会を大成功させた熱気そのままに「戦時弾圧に勝利する救援会をつくろう」「大坂正明さんを絶対に奪還しよう」との基調報告が行われ、これに応える熱い発言が全国の仲間から相次ぎました。

それぞれが直面する救援会の変革の課題や、闘いの前進が報告され、「安保・沖縄闘争を全力で闘おう」「女性差別を絶対に許さない運動を作ろう」「血債の思想貫く星野・大坂精神で闘おう」と気持ちを一にししました。

星野救援会と大坂救援会の力が完全に一つになり、大坂さん奪還へ総力で闘い抜く体制を整える歴史的な総会となりました。救援会は共同代表として浅野健一さん、狩野満男さん、星野暁子さんを選出しました。

星野文昭さんの獄死の責任を問う国家賠償請求訴訟の控訴審は、現在、双方が控訴理由書を提出し、10 月 22 日に第 1 回期日が予定されています▼ところで、『医療判例解説』2025 年 8 月号に星野国賠の一番判決が掲載されました。この雑誌には、判決文だけではなく、第三者の立場から臨床医学に携わる専門家の医師の所見も掲載され、掲載判決に消極的なコメントも載ることがあります▼星野国賠の一番判決についてはどうだったのでしょうか。専門的知見から判決を具体的に検証した上で、「裁判所の判断は妥当」と結論づけていま

す。そして、次のようなコメントもしています。「術後出血のリスクは高いと考えられたところ、術後管理をする医師らは臓器特異性を踏まえた対応をすべきであったといえ、そもそも、本件医療施設で実施すべきではない手術であったと思われる」「医療側の対応は、肝切除術における術後管理の『イロハ』の『イ』から誤っていたと評価せざるを得ません」▼これを一番で意見書を書かれた柳澤裕子医師に送ったところ、すぐに返信メールがありました。「これが、医療界の『常識』だと思っています」▼さっそく、この『医療判例解説』を書証として東京高裁に提出しました。



星野国賠弁護団

岩井信

### 今月の紙面

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 星野・大坂総会 基調報告         | … 2 |
| 星野・大坂総会 弁護団あいさつ      | … 3 |
| 星野・大坂総会 全国の救援会の報告と討論 | … 4 |
| 星野・大坂総会 共同代表あいさつとまとめ | … 6 |
| 8・6ヒロシマ反戦反核集会が大成     | … 7 |
| 戦時弾圧との闘い：沖縄天皇弾圧裁判    | … 7 |

## 基調報告（要旨）

## 全力で1万署名を集め大坂奪還へ

星野・大坂全国救援会事務局長 小泉義秀

アメリカの歴史的没落が世界情勢を揺るがし、戦争が拡大しています。米日による中国侵略戦争は琉球弧を主戦場とし、核戦争まで想定して進められています。安保・沖縄闘争の爆発で戦争を止めよう。

救援会は星野と大坂の力を歴史的に統一し、「安保沖縄闘争の爆発で戦争を止める」「戦時弾圧に勝利する新しい救援運動を作り上げよう」と誓いました。この夏の反戦闘争の先頭に立ち、8・6ヒロシマ反戦反核集会は、機動隊による集会の暴力的破壊、強制排除と体を張って対決し、



大坂奪還へ霞が関デモ（8月28日）

集会を大成功させました。核武装を狙う石破政権の戦争式典を徹底弾劾し、7月末に逮捕された学生の奪還を勝ち取る歴史的勝利を実現しました。戦時弾圧と闘い勝利する闘いの展望を大きく押し広げました。

差別・排外主義との対決がますます重要な時代です。運動内での女性差別・性暴行事件を許さず、青年・学生・女性とともに真に社会を変革するため、闘いの先頭に立ちます。

## 戦時弾圧打ち破る

## 星野・大坂救援運動

沖縄返還協定批准阻止11・14渋谷暴動闘争は、国家暴力を打ち破り労働者民衆の力で社会を変革する闘いの展望を切り開きました。これに対する大反動と真つ向から闘い、星野文昭さん・大坂正明さんの人生をかけた完全・非転向の闘いを軸に半世紀を超えて政府の改憲・戦争攻撃を阻んできました。そうした労

働者民衆の力で破防法攻撃をも打ち破ってきました。

中国侵略戦争が切迫する今日、一審懲役20年判決を打ち破る大坂裁判を、あらためて戦時弾圧との闘いと見据えて闘おう。労働者民衆の力を一つに、戦時弾圧を打ち破る救援会を作ろう。

## 大坂解放へ総力決起を

大坂さんは無実です。安保・沖縄闘争に対する弾圧は、戦争を進める政府との倒すか倒されるかの激突です。

星野さんと大坂さんが警察官殴打の実行行為者だというのは、警察・検察が作り上げた虚構です。大坂さんは神山交番前のデモ隊と機動隊の衝突時の写真に一枚も写っていません。

目撃供述を強制された群馬の学生らは一様に裁判で否定しています。連日10時間以上、殺人罪での起訴をちらつかせた脅迫が続きました。強制された目撃供述など、信用に値しません。

機動隊とぶつかり、火炎びんとガス弾が交錯する混乱の中、周りの人を観察している余裕はありません。臨場感あふれる詳しくすぎる供述調書は、何一つ信用できません。

群馬の学生にとって、大坂さんは「未知の人」でした。どうして覚えていられるのでしょうか。全部ウソ、警察・検察のでっち上げたストーリーです。

あらゆる角度から供述のウソを暴き、新たな心理学実験や供述鑑定を高裁に突きつけ、控訴審を闘います。大坂さんの無実を全面的に明らかにした新しいパンフレットを学習し、控訴審勝利へ運動を拡大しよう。

## 星野国賠完全勝利へ

星野さんを獄死させた国家の責任を追及する国賠訴訟は、一審で画期的な勝利を実現しました。国の控訴理由書には何ら新しい主張はありません。「国の立場を守れ」と裁判所に迫る国家権力を許さず、徳島刑務所の非人間的獄中医療を追及し、完全勝利へ闘おう。

大坂さんの解放・奪還こそ、星野さんの闘いを引き継ぐものです。米日の中国侵略戦争・沖縄の戦場化と根底的に対決し、戦争を阻む力です。救援会の統一した力で運動の飛躍的發展を実現しよう。星野・大坂精神で今秋10・5反戦集会、11・2全国労働者集会をはじめとする反戦闘争に全力で立とう。

## 運動方針

① 反戦闘争の先頭に立ち、大坂控訴審開始までに1万筆署名を集めよう。

② 救援会を圧倒的に拡大しよう。新パンフを活用し、弁護士や労働組合を組織しよう。裁判勝利へ300万カンパを集めよう。

③ 公判に集まろう。霞が関デモや裁判所への申入行動を強め、国賠勝利・大坂奪還へ闘おう。

## 星野・大坂救援会 行動スケジュール

9月25日（木）霞が関デモ&裁判所前街宣

正午 日比谷公園霞門集合

10月22日（水）星野国賠控訴審第1回期日

正午 日比谷公園霞門集合 霞が関デモ

午後2時 東京高裁717号法廷

## 弁護団あいさつ

# 国の主張を撃滅し星野国賠完全勝利へ

星野国賠弁護団 土田元哉弁護士

星野国賠控訴審は、国から控訴理由書が提出されました。私たちは一番に勝利しましたが、徳島刑務所が病気で倒れた星野さんを放置したことについて、裁判所は判断しませんでした。そこについて控訴しています。控訴審に向けて明るいニュースがあります。一審の判決が『医療判例解説』という専門誌に掲載されました。これは特に注目のべき医療裁判について、医療関係者に解説する目的で書かれているものです。特徴は、専門医が判決に対してコメントを出すところ。専門医の立場から見て、この判決はどう思うのか。当然、事案によっては裁判所の認定がおかしいという声も上がる。星野国賠はどうか。



タイトルを見れば一目瞭然です。術後出血のリスクは高いと考えられたところ、術後管理をする医師らは臓器特異性を踏まえた対応をすべきであったといえ、そもそも本件医療施設で実施すべきではない手術であったと思われる」とまで書いている。

名前も知らない、私たちが頼んだわけでもない専門医が、国の主張・姿勢を厳しく断罪しているわけです。「本件における医療側の対応は、肝切除術における術後管理のイロハのイから誤っていた」と評価せざるを得ない」とまで述べています。

最終的にこの専門医は、一審判決の内容を妥当だと評価しているわけです。期待された医療措置をとれば救命することができた。現場の医者から見ても、国の対応が間違っていたということだし、私たちの主張が第三者から見てもまっとうなものだと、自信を深めました。

国は100パーに及ぶ控訴理由

書を提出しながら、内容は一番主張の繰り返しにすぎません。一審判決を医学的知見で批判できないから、「国を負かすのはけしからん」と訴えているのです。東京高裁は国賠や行政訴訟で、

## でっ上げ粉碎へパンフを学習しよう

大坂裁判弁護団 山本志都弁護士

大坂裁判は、まだ東京高裁での闘いのスケジュールが具体的に決まっています。いつ期日が指定されてもおかしくない状態ではありますが、2か月前に秋の期日の打診があつて、調整がうまくいかなかったあと、何も連絡がない状態です。

本日皆さんにパンフレットが配られていると思います。弁護団も目を通しましたが、大坂裁判について非常にわかりやすく端的にまとめられています。

一審判決の一番の問題点は、「事件の発生から50年以上が経



とんでもない理屈でひっくり返す時がある。そういう場で、国の主張をつぶし切って勝たないといけない。そういう控訴審です。引き続きご支援をお願いします。

過して公判審理が行われている本件事案の特殊性などに鑑みれば、目撃者からの供述の検討に当たっては、捜査段階で作成された検察官調査書を基本として信用性を慎重に検討するという手法によらざるを得ない」ということを冒頭で言い切っていました。供述調査がどのように作られるのか、様々な冤罪事件でのでっ上げが暴かれ、今日社会的にも明らかに

いるところ。この事件でも逮捕した少年たちを追いかけて「目撃者」にしていって、その供述のおかしさを控訴審で徹底的に暴いて闘います。

もう一点、この事件には、本来裁判所が認定した事実があるとしたら絶対に存在しなければならぬ証拠がない。パンフにも資料が掲載されていますが、機動隊と対峙した場面の写真に大坂さんが写っていない。検察官も認めているのに、「先頭から飛び出して殴られた」とされた。調査に基づく認定です。写真という物的証拠で無実が明らかだと、控訴審でも闘います。

東京高裁という舞台で星野さんの国賠と大坂さんの控訴審が闘われます。一つの救援会で、同じことを実現する闘いとして、一つの勝利に向かってこれから支えてください。



沖縄闘争の歴史から11・14弾圧の構造、そして大坂さんの無実を全面的に明らかにするパンフレットができました。

パンフで学習し、無実の大坂さん絶対奪還へ闘いを強めよう。頒価 500 円。注文は救援会まで

## 連帯のあいさつ

## 戦時弾圧に勝利する

全学連 渡辺祥英

8月22日、天皇来沖弾劾を闘いでつち上げ逮捕・起訴された田丸さんを保釈奪還しました。

8月8日には中央大学でのピラマキで暴処法違反をでつち上げられた女子学生2人を奪還しました。今年に入って全学連への弾圧は、私も含めて延べ13人逮捕、一人起訴と組織破壊的です。

明らかにこれまでとは質の変わった攻撃が仕掛けられているが、ただの一人も脱落・転向していないことが、この戦時下での反戦闘争という意味で画期的な勝利だと思います。

星野・大坂闘争は、「誰もが人間らしく生きられる社会」を目標とした星野さんの生き方を、労働者民衆が体現していくものとしてありました。被抑圧諸国民の闘い、差別抑圧との闘いを自らの闘いに重ね、民衆が立ち上がる本質があります。中国侵略戦争情勢の中、本当に戦争を止め、世界を変える。この中大坂奪還の力があることを確認して連帯のあいさつに代えます。

## 渋谷闘争は絶対正義

東京労組交流センター

代表 山口弘宣

この総会は、二つの救援会が統一されて控訴審闘争勝利・大坂さん絶対奪還の新たな闘いに突き進む、記念すべき総会です。こうした中、私たち交流センターの中で女性差別・性暴力事件が起き、運動の前進を阻害したことを謝罪します。11月集会は動労千葉が単独で開催を決定しましたが、これを全力で支え、昨年以上の闘いを実現することで星野・大坂闘争をも前進させたいと思います。

渋谷闘争は絶対正義です。国家権力の暴力に対して、労働者民衆が反撃する。何が悪いのか！ 国家権力はこの間、全学連に連続弾圧をかけ、大坂さんには懲役20年。こんな権力は実力闘争で倒す、この決意で大坂さんを奪還しよう。10月5日、東京で反戦集会を開催します。東京労組交流センターは1000人の結集を目指し闘います。そして11月2日の全国労働者集会は6000人の結集を絶対に作り出す、その決意をもって連帯のアピールといたします。

## 討論

## 女性差別事件克服へ闘う

関西連絡会 吾郷春代

最初に、関西で起きた運動内部での女性差別事件と、その隠ぺいを許すことはできません。女性解放は差別排外主義を支配の根幹に置く帝国主義の打倒なくしてなしえません。なぜこのような事件が生み出されたのか、闘いの路線の内容から討議を進めています。問題の克服に向けて共に闘いましょう。連帯し侵略を内乱への闘いが重要だと思います。

渋谷暴動闘争は「連帯し侵略を内乱へ」の闘いそのものです。石破政権は核共有を叫び、中国侵略戦争に向けてアメリカの核を日本に配備しようとしています。軍事演習も連日行われています。戦争を始める前に止めましょう。

ガザでの大虐殺を止めるためにも、日本における安保・沖縄闘争の新たな発展を勝ち取るのが重要です。今年の8・6ヒロシマ反戦反核闘争は、逮捕覚悟で実力で闘えば労働者民衆は戦

争を進める政府に勝利することができると示しました。戦争を革命へ、全力で闘い大坂さん無罪奪還を絶対にかちとろう。

## 破防法との闘いを指定

九州 吉田光男

被爆80年を迎えた広島・長崎で画期的な反戦反核闘争を実現しました。豪雨の中、長崎への結果ありがとうございました。

九州は琉球弧を戦場とする長距離ミサイル配備計画の北端に位置し、中国侵略戦争のための陸自水陸機動団の部隊輸送のための基地として、佐賀空港に隣接して駐屯地が開設されました。今年、いよいよオスプレイが飛んできて、100人ぐらいで抗議の闘いをやりました。その2日後、星野絵画展を開催しました。大学の施設で開催して4年目になるが、オスプレイ問題への関心が高まり、初めて学生が参加しました。

安保・沖縄闘争というとき、破防法との闘いも重要です。11・14の前に全学連委員長が破防法を適用されました。裁判を20年闘い粉砕しました。こうした民衆の闘いをしっかり指定し、学

んでいきましょう。

## 闘いが大衆を組織する

愛媛 日野亮

私たちも8・6ヒロシマの座り込みに参加しました。この間女性差別などを克服する闘いを進めています。闘争現場で団結して権力と対峙して闘う中に、豊かな連帯の心、一体感を感じることができました。今年はそのすごい勝利感を持ちました。

今政府は沖縄、広島、長崎と天皇制を押し出して反戦反核の闘いをつぶそうとしています。8・6はこれと真つ向から対決し、闘いを死守する決戦でした。愛媛の参加者も女性たちが最前線に立ちました。機動隊の暴力と対決して勝利し、「楽しかった」と感想を述べていました。闘いが大衆をひきつけ、隊列に組織する。そこに確信をもって、これからも闘っていきます。

## 血債かけ戦時弾圧と闘う

広島 奥村毅

広島でも組織変革の討論を進めてきました。広島は女性差別・暴力事件の当該そのものと言え、

簡単に「乗り越える」と言えませんが、克服をかけて闘います。アジア人民への血債が、広島で蒸発させられていました。言葉ではなく、運動のすべてを見直し、戦争を止める闘いを貫きたい。そうした闘いの中で大坂さんを取り戻し、星野さんの無念を晴らします。

広島では8・6闘争を青年学生の間で任せるのではなく、自らが先頭に立とうと決意しました。原爆ドーム前で強制排除された30人のうち10人が広島の間で、その半分が女性。みな星野を闘ってきた仲間です。血債をかけ「侵略を内乱へ」、その力で大坂奪還へ向かいます。

中国侵略戦争・核戦争を絶対に止めるという思いで、国家権力の全体重をかけた反戦反核つぶしを体を張って跳ね返しました。戦時弾圧に歴史的な反撃を実現し、大坂さんは絶対に奪還できると確信を持ちました。

## 大坂君との約束がある

愛知 坂野康男

8・6原爆ドーム前攻防を東海の間も闘いました。私は大坂正明君の幼稚園の同級生。彼

は9月に76歳になるが、私は8月6日が誕生日。原爆ドーム前で誕生日を迎えました。

救援会を統一し、星野国賠も大坂控訴審も新たな闘いに入ると報告がありました。私は大坂君に「必ず奪還する」と約束しています。8・6ヒロシマを闘いぬいたように、中国侵略戦争阻止の大反戦闘争と裁判闘争の二つの柱で勝利しよう。

## 大坂奪還へ命を懸ける

兵庫 新田和生

関西では差別抑圧との闘いを圧殺する思想にどつぱりつかっていたことを踏まえ、組織の再建と討議が行われています。闘いを前進させるため、仲間から「星野・大坂総会に行つてこい」と送り出されました。

19歳の時、沖縄返還協定批准阻止の闘いに参加しました。今年の8・6広島を闘い、当時の気持ちがいまも残っています。単に実力闘争というのではなく、これは女性解放・アジア人民解放の闘いでもあると思います。私も被爆2世。核戦争・世界戦争の危機に、この数年の闘いを総括し、大坂奪還へ命を懸け

て闘います。

## 一万人署名を実現しよう

東京東部 小泉純子

東京東部でも「大坂奪還に全力で取り組もう」と討論してきました。星野さん獄死の無念は忘れられないが、星野国賠一審判決の勝利を確認し、大坂さんを絶対に取り戻そうと、1万人署名に取り組んでいます。

東部では独自の街宣活動をやっていますが、改憲・戦争阻止！大行進の力も借り、その街宣の場で大坂ゼッケンをつけ、大坂さんのことを訴え、署名を集めたりしています。

昨年宮古島にも行き、戦争準備が進む実態を見ました。人々を怒鳴りつける自衛隊の姿は旧日本軍を彷彿とさせます。反戦の訴えが響く情勢です。大坂奪還へ地域で街宣を闘おう。

## 横須賀闘争と一体で闘う

神奈川 鈴木文子

7月に星野大坂救援会神奈川として新たに出発しました。星野を闘ってきた私たちが大坂さん奪還の先頭に立とうと議論し

てきました。絵画展も沖縄闘争を前面に出して挑戦しました。今年に入り全学連の仲間13人

逮捕、戦時弾圧が始まっています。星野と大坂の統一で戦時弾圧に打ち勝つ救援運動を作っていくかと思っています。地域の弁護士を大坂署名で組織する取り組みを始めました。女性解放の先頭に立ち、横須賀闘争と一体で星野・大坂を闘います。

## 大衆の獲得が勝利のカギ

茨城 日下部伸

最近の絵画展のスローガンは「絶対反戦」です。中国侵略戦争阻止の沖縄コーナーや反原発コーナーを作つて、街宣のような絵画展です。来場する多くの市民運動・大衆運動の主体を、星野・大坂を通じて階級的な運動に発展させる取り組みです。

ホームページ管理に携わり、青年が見てすぐわかるものを作ろうと改良を重ねています。

韓国の11月労働者大会はチョンテイル烈士追悼の全国大会です。民衆の抵抗権、革命権は憲法を超える権利です。社会を変革するのは大衆です。青年・学生力です。大衆を獲得し、星

野さん・大坂さんへの社会的認識を作ろう。

## 大坂署名に取り組む

埼玉 飯島良子

絵画展を中心に活動してきましたが、この2、3年は「沖縄を戦場にするな」と、星野さん・大坂さんの闘いをとらえ、青年を組織できる闘いを始めました。

星野大坂精神を引き継ぎ、7月26日にさいたま反戦デモを行い、8・6広島行動にも参加して闘いました。大坂署名に積極的

## 大行進と一体で闘い進む

千葉 飯島幸雄

会の結成から17回目の総会。千葉では昨年、星野さんと大坂さんの闘いを一つにして闘おうと議論して来ました。毎月数人で街宣を行ってきましたが、今は改憲・戦争阻止！大行進と一体で闘いを進めるところまで来ています。何としても戦争を止めようという覚悟です。

千葉は大坂さんの出身大学がある。大坂奪還の先頭に立ち、運動をさらに拡大する決意です。

## 浅野健二 共同代表

## 人民の抵抗権で闘おう



歴史ある星野大坂の闘いに共同代表として加われることを光栄に思います。大坂さんと何度か面会して

精神に学び、71年11・14沖縄返還協定批准阻止闘争を闘った星野・大坂の復権をかちとろう。東京西部でも、より大きな力を發揮できるようにならうと、救援会変革の闘いを始めました。大坂さん解放1万人署名を、街宣など創意工夫して実現しましょう。10月22日、星野国賠控訴審に集まり闘いましょう。

## 狩野満男 共同代表

## 8・6の勝利を大坂奪還へ



今日の基調と新しいパンフレットが私たちの武器です。持ち帰って学習し、運動形成に生かしてください。特に1万人署名を絶対に実現しよう。一人一人の思いのこもった署名は裁判所を揺るがす力になります。一人一人をオルグし、各地で闘いに組織しましょう。

メディアに訴えていきましょう。全国救援会が中心になって、えん罪やでっち上げを生み出す司法の暴走を暴き、人民の抵抗権を掲げ、世界の労働者民衆と連帯して闘いましょう。

## 星野暁子 共同代表

## 1万人署名に取り組もう



大坂さんは無実であり、必ず取り戻さなければなりません。チョンテイル

今年の8・6の闘いの中に、すべてが凝縮されています。実力闘争の爆発で戦争を止める、この秋の星野・大坂の闘いにとって重要な指標になりました。全体で邁進しましょう。

## 大坂正明さんの総会メッセージ

## 8・6反戦反核集会勝利の報を聞き

## 心身とも充実して控訴審へ向かう

8・6ドーム前集会貫徹の闘いは見事でした。救援会からも多くの方が参加したことと思います。徹夜での座り込みに参加された方もいらしたと思います。まことに疲れさまでした。ガッチリとスクラムを組んで集会を守り抜く姿に本当に感動しました。

日帝・石破と広島市長・松井を先頭に開かれた官製の式典は口では「核兵器廃絶」を唱えつつ、現実の政策では「核の傘」を賛美し、「非核三原則」を投げ捨て、さらには「核共有」を叫ぶという実にペテン的なシロモノでしかありません。

このペテン的式典に反対し、真に反戦・反核を掲げたのは「8・6ヒロシマ大行動」勢力しかいませんでした。官製式典を



守るために他の集会・デモを規制する攻撃に

唯唯諾諾と従っていると、いずれ官製式典以外は全て禁止するところまでエスカレートするのは不可避です。

だから絶対反戦派がドーム前集会をかちとったことには絶大な意義があるのです。帝国主義の中国侵略戦争を止めることは、今を生きる労働者民衆の歴史的責務です。ドーム前集会は、そうした重い責任を果たす象徴的闘争だと私は考えています。

そういうことから今年のドーム前集会を文字通り体を張ってかちとったことに心から感動したし、また同時に、今後さらに反戦・反核闘争の高揚が求められることに緊張も覚えています。

そしてまた、ドーム前集会のような闘争あつてこそ星野国賠闘争であり、大坂裁判闘争だということであらためて確認しました。私たちの裁判が、反戦・反核闘争、沖縄闘争と一体でなければ、ただ過去の事後処理的な裁判になってしまいます。そ

れではたとえ裁判で勝利しても個々の限定された人たちの勝利でしかありません。

星野・大坂闘争の決着は、反戦・反核、沖縄闘争の勝利であり、戦争を止めることに求められます。今年のドーム前集会貫徹の勝利は、二つの控訴審に向けて大きなステップになったと思います。

ただし両控訴審は決して樂觀できるものではありません。帝国主義社会を守る牙城・東京高裁での裁判なのですから、これまでの幾多の裁判同様、政治色の強い権力側有利の判決が十分予想されます。ここで私たちにとって重要なことは、二つの控訴審開始と10・5反戦行動、11・2全国労働者集会への組織過程が重なりますから、ともに共鳴しあい、高めあつて集会・裁判ともに勝利するために闘うことです。

私は7月末に大腸ポリープ摘出手術を受け、そして8・6ドーム前集会の勝利の報を聞き、心身ともに充実して控訴審開始を待っています。救援会の皆さんとともに全力で闘っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

## 安保・沖縄闘争の報告

### 8・6原爆ドーム前を守り抜いたぞ！

## ヒロシマ反戦反核集会が大成功

戦後80年、核戦争・中国侵略戦争へ突き進む石破政権は、昨年に続き広島平和記念公園・原爆ドーム前集会を禁圧しました。



強制排除と対決し 650 人が座り込む



青年・女性先頭に原爆ドーム前で徹夜の闘い



機動隊の暴力はねのけ反戦反核集会を貫徹！



那覇拘置支所から出獄（8月26日）

## 帝国主義の息の根を止める時代

### 青年を一人残らず獲得しよう

全学連 田丸鴻一郎

6・5天皇弾圧で逮捕・起訴された田丸鴻一郎です。8月22日に保釈を勝ち取りました！ 本当にありがとうございます！！

皇沖縄訪問」＝「天皇を崇め再び侵略戦争の犠牲になることを良しとする沖縄」をなんとか捏造しようとしたのでした。

この狙いを打ち砕くことができたのは当たり前のことではありません。4・5日当日の闘いと私の奪還闘争によって、弾圧を反戦運動の後退ではなく前進に転化することができたのです。

に勝ち取られたことです。イラン爆撃や参院選によってこの3カ月間（私の勾留期間）で、中国侵略戦争・世界戦争への歯車が1回転しました。ブルジョアジーは天皇を切り札として国防主義と排外主義への全人民の猛烈な取り込みを進めています。だからこそ、猛烈な勢いで青年・学生・女性と差別に怒り、行動に立ち上がり始めています。どっちが勝つのか、という時代に入ったのです。

8・6ヒロシマ大行動が呼びかけた反戦反核集会は、米日による中国侵略戦争と真つ向から対決して闘い抜かれました。石破政権の反戦反核闘争つぶしと対決し、広島市当局・広島県警機動隊による暴力行使＝強制排除を力で粉碎しました。労働者民衆は絶対反戦で団結して闘えば勝てる！

6月4・5日の天皇沖縄訪問は、沖縄に配備したミサイルやEABOの部隊を使って中国侵略戦争をやる、そのために日本全国の人民とりわけ沖縄人民を動員し犠牲にするための、政治的攻撃でした。5日は那覇市街地に私服を着せた機動隊を大量に配置し、住民にバッチリ見られている中で大行進沖縄の抗議行動の部隊を破壊するためだけに公道を約40人の肉壁で塞いで、「沖縄人民が皆喜んで迎えた天

まず沖縄人民が猛烈に戦場化攻撃・天皇攻撃と6・5天皇弾圧に怒ったということです。私の奪還署名は1000筆以上集まっていますが、そのうち117筆はある日の辺野古での県民集会での情宣だった1日分で集まった署名だそうです。これほどありがたいことはありません。

私たちの大反乱を組織する挑戦権と義務を背負う時代に突入しました。ここにはベトナム戦争と沖縄返還協定に怒り闘った71年の暴動闘争と同じ時代精神があります。闘う（闘いを求める）全ての青年・学生・女性が、8・6の勝利を見えています。彼ら彼女らを残らず反戦闘争に組織しましょう。彼ら彼女らが次なる星野さんであり大坂さんです。

何より6・14東京と8・6広島を頂点とする改憲・戦争阻止！大行進の闘いが、完全にこの戦争情勢を真正面から相手にして日帝打倒の内乱・革命に転化する闘いとして、それを求める全ての人民の結集軸として、大い

ひとつが、私の奪還闘争・獄中闘争であったことを、心の底から誇りに思います。残るは須賀さん・大坂さんです。2人を一刻も早く取り戻し、日帝打倒の革命的内乱を実現しましょう！

## インフォメーション

### ■練馬駐屯地デモ

9月13日(土) 午後1時 徳丸第二公園  
(東武東上線東武練馬駅北口徒歩5分)  
主催 改憲・戦争阻止! 大行進 東京  
改憲・戦争阻止! 大行進 東京北部

### ■差別・排外主義、民族抑圧を許さない上映&トーク

9月20日(土) 午後7時 セシオン杉並・講座室  
(東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅徒歩5分)  
上映 『指紋押捺拒否』part1  
お話 十亀トシ子さん「入管体制と現在」  
(入管法と民族差別を撃つ全国実行委員会)  
主催 改憲・戦争阻止! 大行進 中野・世田谷・杉並

### ■大坂さん奪還震が関デモ&裁判所前街宣

9月25日(木) 正午 日比谷公園霞門  
(東京メトロ丸ノ内線・千代田線霞ヶ関駅B2出口すぐ)

### ■女性解放学習会第2弾

9月27日(土) 午後6時30分 月島区民館  
(東京メトロ有楽町線・都営地下鉄大江戸線月島駅徒歩2分)  
講師 洞口朋子(杉並区議会議員)  
学習会のテーマ 革命的女性解放闘争と反戦闘争  
主催 改憲・戦争阻止! 大行進 東京

### ■米日の中国侵略戦争・核戦争阻止!

横須賀を核攻撃の出撃拠点にするな 9・28 横須賀闘争  
9月28日(日) 午後2時 京急横須賀駅中央駅前広場

### ★アピール行動後、米海軍横須賀基地に向けてデモ行進

主催 改憲・戦争阻止! 大行進 神奈川  
「改憲・戦争阻止! 大行進」実行委員会

### ■広島暴処法裁判第8回公判(論告求刑・最終弁論)

10月3日(金) 午後2時 広島地方裁判所第304号法廷

### ■米・日帝国主義の中国侵略戦争阻止!

10・5全国集会&大行進  
10月5日(日) 午後1時 青山公園・南地区  
(東京メトロ千代田線乃木坂駅5番出口徒歩3分)  
主催 「改憲・戦争阻止! 大行進」実行委員会

### ■三里塚全国集会

10月12日(日) 正午 成田市赤坂公園芝生広場  
主催 三里塚芝山連合空港反対同盟

### ■星野国賠控訴審 高裁包囲デモ

10月22日(水) 正午 日比谷公園霞門  
デモの後、高裁前街宣

### ■星野国賠控訴審第1回裁判

10月22日(水) 午後2時 東京高等裁判所717号法廷  
裁判終了後、報告集会

### ■全国労働者総決起集会

11月2日(日) 正午 東京・芝公園23号地  
(都営三田線御成門駅A1出口徒歩7分)  
呼びかけ 動労千葉など



「アカバナの咲く丘から沖縄の海を眺める」

絵 星野文昭 2006年制作

沖縄を描いた初めての絵です。はじめ、この絵のタイトルは、「ハイビスカスの咲く丘から沖縄の海をながめる」となっていたのですが、平良悦美さんから、「わたしたちは、ハイビスカスではなく、『あかばな』と呼んでいるよ」と言われ、急遽「アカバナ」に変えたものです。ハイビスカスは、戦後アメリカから輸入された花で、アカバナは、沖縄の人たちが、ずっと親しんできた花なのです。

星野暁子

## 今秋控訴審勝利へ、裁判費用 300万円のカンパを訴えます

今秋、大坂控訴審と星野国賠控訴審が始まります。両控訴審闘争の勝利へ、皆様からの絶大なカンパをお願いいたします。

大坂さんの無罪解放へ、弁護団は詳細な供述分析や新たな心理学実験を行い、東京高裁に事実調べを迫っています。暴力と脅迫で「目撃供述」をでっち上げたねつ造調書に依拠し、「なにがなんでも有罪」とする一審の政治判決を絶対に打ち破りましょう。

星野国賠の地裁判決が『医療判例解説』に掲載され、「肝切除術における術後管理のイロハのイから間違っていた」と専門医がコメントしました。医学的知見で国に反論の余地はありません。控訴審では地裁が判断を避けた徳島刑務所での星野文昭さんに対する医療放置の問題を徹底的に追及し、完全勝利を目指します。

費用をまかなう300万円カンパをお願いします。

振替口座：00140-7-635858

口座名：星野・大坂全国救援会

〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226

Email: hoshinoosaka@ymail.ne.jp

※今月から口座名が「星野・大坂全国救援会」に変わります。口座番号もお間違えなく。

## 会員になってください

星野・大坂救援運動は全国の会員によって支えられています。あなたも会員になってください。

- 会費 年間3,000円
- 会員には星野・大坂ニュースをお届けします。
- 入会申込 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階  
星野・大坂全国救援会